

地域活性化とティファニー財団賞

衰退する地域社会の中の伝統文化

ティファニー財団賞は日本の地域社会の活性化を伝統文化の活用によって成し遂げようとする団体を表彰する制度として創設された。その前提には、日本の地域社会は人口減少等によって危機的な状況を迎えるという危惧があり、地域社会の再生のために伝統文化が大きな役割を果たすのではないかとの発想があった。

現実には地方都市は人口減少や経済の衰退に悩まされ、地域社会の危機的な状況は時間とともに深刻さを増している。大都市に人、モノ、カネ、情報は集中する傾向にあり、地方からは若者の流出が絶えない。グローバル化の進展によって、地方の地場産業は国際競争にさらされ、海外へ雇用が流出するという状況が起きていることも地方の衰退と人口減少の一因となっている。

例えば秋田県を見ると、過去30年間で約14万5千人減少しており、今後人口の減少は加速化し、2040年には人口が現在の約107万人から70万人に減ると推計されている。

こうした状況が続けば、日本の持つ地域的な多様性も喪失してしまいかねない。

日本ではこれまで地域ごとに祭りがあり、郷土料理があり、風習や伝統が維持され、豊かな伝統文化が根付いてきた。世界の人々を魅了する日本の文化を形成するのは、そうした地域社会に根付く伝統文化であり、その多様性こそが日本の豊かな風土を形成するカギとなっていた。地域に住む人々は、地域に伝えられる伝統文化・伝統芸能の継承を通して地域に誇りと愛着を実感し、伝統文化が地域共同体を維持する上で大きな力となってきた。しかし、人口の減少によって、地域の経済基盤が脆弱になり、伝統文化の維持も難しくなるという事態が進行している。

一方、そうした厳しい状況の中で、伝統文化の維持と革新を図ることで、地域社会の活性化を図ろうとする動きも始まっている。伝統文化や伝統行事をもつ土地は、地域の求心力がまだに健在であることを示している。若者が伝統文化の後継者となれば、先祖から受け継いできた地域の有形、無形の財産を次世代に引き継ぐことができる。さらに伝統が守られ発展し



ていくことで、住民は地域に対する誇りを再認識し、より前向きに地域の未来を切り開いていくことが可能になる。

地域の住民は伝統文化を核として気持ちを一つにして結集することができる。さらに青少年は伝統文化の活動を通じて社会で活躍している多様な人達と出会い、彼らからさまざまな経験を学んでいく。伝統文化の維持と発展は、地域社会を担う次世代を育てる意味で重要な機会を提供しているといえるだろう。

ティファニー財団賞とは

ティファニー財団と(公財)日本国際交流センターの協力により創設された「ティファニー財団賞—日本の伝統文化と現代社会—」は、そうした地域に根付く伝統文化に注目して実施されたものである。単に伝統文化を維持するだけではなく、その活動を現在社会の課題やニーズに結びつけ、イノベティブな活動を行う団体を表彰することで、地域社会に革新を導くことを期待して2007年12月に創設された。

ティファニー財団賞では、日本の伝統文化の振興と地域社会の活性化に功績のある団体に対して毎年1回顕彰を行い、各地域において行われている活動の全国的な認知を広げることを目的として実施された。

ティファニー財団賞が対象としたのは以下のような活動を行う団体である。

- (1) 地域の伝統文化を現代社会の営みにマッチさせ、地域文化を核として広く市民を巻き込んだ活動となっている事業
- (2) 地域社会に昔からあった活動を再活性化することにより、地域の誇りを取り戻し、地域の活性化に寄与している事業
- (3) 伝統文化をテーマに国内外と交流することで開かれた地域づくり、地域社会の活性化に役立っている事業

ティファニー財団賞では、伝統文化の定義について幅広い意味を持たせ、歴史の中で世代をこえて受け継がれている慣習、芸能、産業なども対象とし、人々の暮らしに根付いているさまざまな地域の活動、生活様式全般をも範疇に入れた。

ティファニー財団賞は伝統文化大賞と伝統文化振興賞の二つに分かれる。大賞は全国的に評価を受け認知されている団体のうち、そこに留まらず革新性等を迫及し、積極的な活動を行っている団体を対象とした。一方、振興賞は小規模ながら地域社会で高く評価され、その

将来性に高い期待が寄せられる団体や模範的な活動を行う団体に対して贈られた。各賞毎年1団体ずつが選出され、受賞団体にはそれぞれティファニー製トロフィーと賞金200万円が贈呈された。

ティファニー財団賞では以下の4つの項目を選考基準と定めた。

ア 地域文化

地域の伝統に根ざした活動や文化を核に現代社会にふさわしい活動としてコミュニティの活性化に結び付けている。

イ 視覚的芸術性

視覚的芸術性に優れており美的な要素に富んでいる。

ウ 自立発展

幅広く財源の確保に努め、担い手の広がりが見られる。

エ クロスセクター

行政、企業、市民など、特定のセクターの枠をこえて幅広く支持を得ている。

オ 波及性

単一の地域社会を超えた影響力を持ち、それが普遍的なモデルになりうる。

ティファニー財団賞では毎年1回、募集を行ったが、全国各地から応募が寄せられ、最終年の2013年には66団体の応募があり、その知名度は徐々に上がっていった。

全国には地域の活性化を表彰する制度がいくつかあるが、ティファニー財団賞では、地域の活性化と伝統文化に功績があるだけでなく、視覚的芸術性に優れていることが求められ、美的要素を必要とするという特徴があった。受賞団体の活動は多様であるが、このブックレットで明らかなようにいずれも高い美的水準を満たすものである。



審査は以下の4名の選考委員による選考委員会を開催して行われた。

選考委員会(敬称略・役職は当時)

委員長 南條史生 森美術館館長

委員(50音順)

隈研吾 建築家、東京大学教授

田中優子 法政大学教授

日比野克彦 アーティスト、東京藝術大学教授

地域活性化へのティファニー財団賞の貢献

地域活性化の取り組みは各地で行われてきたが、基本的にそれぞれの地域内での活動であり、それが全国的に知られることは例外にすぎなかった。例えば、「西塩子の回り舞台保存会」の活動は60戸の小集落で行われている活動であり、地元、あるいは県内で知られる程度のものであった。そうした団体がティファニー財団賞を受賞することで、大いに知名度があがったことは間違いない。

受賞したことによって地元の評価ががらりと変わり、活動がやりやすくなったという声もある。受賞によって地元が活動の重要性を認識するようになり高い評価と理解につながったという。また「輪島土蔵文化研究会」では地元で知られるだけでなく、全国の関係団体に広く知られるようになり、左官職人に明るい希望を抱かせるものになったという。

受賞の効果として最も多い感想は自信と誇りを取り戻すことができたというものである。ふるさとへの誇りを強めることができたという意見や受賞したことで住民が自分たちの文化に誇りを持てるようになったという意見も多い。地域で長年、活動しながら、活動の意義や成果について必ずしも自信がもてなかった団体にとってティファニー財団賞の受賞は大きな励みになったことがうかがえる。

受賞による誇りを胸にさらに前進をしたいという意気込みも受賞団体にはうかがえる。地域を誇りに思える心を持ち、志高く自己肯定できる人づくりに取り組むとの声や、伝統を重んじながらも革新的な精神を大切に、活動を続けていきたいという意気込みを表明する団体もある。

また、世界に対しても胸を張れと背中を押してもらった、またわれわれの活動は世界水準という認識が持てたという意見は、ティファニーであるからこそその認識だろう。ティファニー財団賞を受賞することは単に国内で認められたというだけではなく、国際的な評価が得られ

たと受賞団体では考えている。

実際に受賞を契機として海外とのつながりが深まったという団体もある。「鯛車復活プロジェクト」では、受賞を契機に地元の姉妹都市である米国テキサス州ガルベストーン市へ派遣され、現地で鯛車作りの実演を行う活動がなされている。また「京町家再生研究会」では受賞を契機としてニューヨークでのシンポジウムに参加する機会が生まれたという。

受賞団体にとって、海外の高級ブランドであるティファニーの財団から贈られた賞は特別の意味を持つものだった。地方都市で地道な活動を行う人々にとって、ティファニー財団賞を受賞することは大きな感激と喜びを伴うものだったといえるだろう。

以上のようにティファニー財団賞によって受賞団体の多くはこれまでの活動に対して自信を深め、地元での評価が高まり、新しいステージへと飛躍をしたことがうかがえる。受賞によって若い世代が積極的に活動に参加するようになった例もあるが、これも活動の持続性を高めるうえで極めて重要な成果といえる。ティファニー財団賞は日本の各地域の伝統文化の質の高さやその多様性に光を当て、それが世界に誇る日本の貴重な資源であることを日本の国内外に示したといえるだろう。

2014年、政府は厳しい人口減少と地域の衰退に対して新たに地方創生担当大臣の設置を決めた。地方創生が国を挙げての大きなテーマとしてとらえられるようになったが、ティファニー財団賞の受賞団体は日本の地域の活性化を考えるうえで極めて重要なリソースとして位置づけられるだろう。

また日本国際交流センターでは受賞した団体のみならず、応募した団体の活動についての情報を共有するため、ティファニー財団賞フレンズとしてウェブページを立ち上げ、その情報の発信に努めてきた。現在、北海道から沖縄まで113の団体の活動が紹介されているが、そうした情報も今後、一層利用される可能性がある。

本書によって、全国で伝統文化と地域の活性化に取り組む活動の重要性が理解されるとともに、ティファニー財団賞を受賞した団体が地域でますます輝き、全国の同様の活動のモデルとしてその経験が活かされることを期待したい。

(文責：毛受敏浩)

The Tiffany Foundation Award and Regional Revitalization

Toshihiro Menju

Revitalizing Communities in Decline through Traditional Arts and Culture

The Tiffany Foundation Award for the Preservation of Japanese Traditional Arts and Culture in Contemporary Society was created to recognize organizations undertaking exemplary initiatives to reinvigorate their communities by drawing on their local cultural heritage. The program was premised on the idea that many communities throughout Japan are facing a critical threat to their survival, and that traditional arts and culture can provide a major impetus for their revitalization.

Many rural communities in Japan are experiencing economic stagnation and a significant decline in population, which jeopardize their very existence. This trend is exacerbated by the continuous flow of young people from the countryside to the large cities where people, commodities, money, and information all tend to concentrate. A wave of globalization, which has exposed local industries to international competition and encouraged an outflow of jobs overseas, has also played a role in weakening communities in Japan's hinterlands. If we look at Akita Prefecture, for example, the population has decreased by approximately 145,000 people in the past three decades. That rate of decline is expected to accelerate in the coming years, so that the prefecture's current population of 1.07 million is projected to shrink to 700,000 by the year 2040.

These trends jeopardize the diversity of Japan's local heritage. Japan has always enjoyed a rich variety of deep-rooted traditions unique to each region, as evidenced by the numerous local festivals, foods, customs, and traditions. The Japanese arts and culture that have long captured the hearts of people around the world are in fact rooted in this diverse local heritage that has been passed down from generation to generation, providing a source of pride and affinity with one's local roots and helping bind communities closely together. However, population decline has weakened local economies, making it difficult to maintain and preserve their heritage.

Recently, however, in light of all of the difficulties confronting Japan's rural communities, there have been movements to preserve and bring new life to the traditional culture as a way of revitalizing declining communities. Areas that continue to maintain their traditional cultural activities can maintain strong communal ties through the very sharing of that common heritage. Passing the torch to young members of the community allows them to become involved in the process of handing down the traditions to the next generation and lets them play a role in preserving both the tangible and intangible cultural assets of their hometown. By preserving and further promoting these assets, community members can gain a renewed sense of pride and can help create a brighter future for their community.

Local heritage provides a focal point around which the community can come together. By participating in traditional cultural activities, young people are able to engage with others active in their communities and learn from them. Thus, the preservation and promotion of local arts and culture provides a valuable opportunity to nurture the next generation of residents who will be responsible for carrying on the community's traditions.

About the Tiffany Foundation Award

The Tiffany Foundation Award was created in December 2007 by The Tiffany & Co. Foundation and the Japan Center for International Exchange (JCIE) to recognize this important role played by the traditional culture that is so deeply rooted in local communities. It was established in the hopes of rewarding organizations that are not only preserving traditional arts and culture, but also finding innovative ways to draw on local tradition in order to meet the needs of contemporary society. The program also aimed to raise the profile of these organizations' activities around the country by focusing attention on their efforts.

The awards were first given in 2008, and once a year the program recognized organizations whose activities

- incorporate the heritage of traditional local culture into the contemporary activities of modern society by mobilizing the participation of a wide range of citizens in traditional cultural activities;
- revive traditional cultural activities that have been passed down through the generations with the purpose of regenerating a sense of local pride and contribute to community revitalization; and
- promote domestic and international exchange related to the theme of traditional arts and culture to rejuvenate local communities and open them to the rest of the world.

The Tiffany Foundation Award defined traditional culture in a broad manner to encompass any tradition, custom, arts, craftsmanship, and/or industry that has been passed down through the generations and has taken root in the lives and activities of local communities.

The program honored organizations in two separate categories: the **Taisho Award** was given to one organization that is nationally known and expected to introduce a revolutionary or innovative element to its field; and the **Shinkosho Award** was presented to a second organization that is recognized at the community level as having great potential or that had produced exemplary results through efforts in its region. The recipients each received a ¥2 million award and a trophy made and donated by Tiffany & Co.



The winners were selected based on the following five criteria:

1. *Local Culture*—activities that focus on traditional local cultural heritage and contribute to community revitalization in contemporary society.
2. *Artistic Value*—activities that have outstanding artistic value with a rich visual element.
3. *Self-Sustainability*—Activities that are engaged in efforts to secure funds from a wide range of financial sources and to expand participation.
4. *Cross-sectoral Nature*—activities that are not limited solely to a small group of individuals but involve the participation of a wide range of local citizens from different sectors of society such as government, business, and civil society.
5. *Impact*—activities that have the potential to have a social impact beyond the individual community where they originate.

Each year, the awards program attracted the growing interest of many organizations from various parts of Japan that hoped to be selected. By the final year of the program (2013), the program had become widely known and the list of applicants had risen to 66 organizations.

Although there are other programs that recognize organizations contributing to the revitalization of communities, the Tiffany Foundation Award was unique in that it not only sought excellence in terms of the content of the activities but also in their design. The criteria for selection also included the aesthetic value of the applicant's activities. As this publication shows, the recipient organizations represent a diverse range of activities, and all demonstrate high artistic standards.

The applications and nominations were reviewed by an independent selection committee comprised of the following four experts:

- Fumio Nanjo (Chair, Selection Committee)—Director, Mori Art Museum
Katsuhiko Hibino—Artist; Professor, Tokyo University of the Arts
Kengo Kuma—Architect; Professor, University of Tokyo
Yuko Tanaka—Professor, Hosei University

Contribution to Regional Revitalization

Many of the activities that the awardees were carrying out to reinvigorate their communities tended to target only local residents and were rarely known outside their prefecture or on a nationwide basis. The [Nishi-shiogo Revolving Theater Preservation Committee](#), a 2008 awardee, is one such example. Their work involved the residents of a small village of only 60 households. At best, its name may have been familiar to those in the surrounding villages and possibly to some elsewhere within the prefecture, but receiving the Tiffany Foundation Award raised their profile considerably.

Some recipients said that the Tiffany Foundation Award changed local residents' views of their organization in a way that made it easier for them to operate in their communities. The

recognition brought with it a greater understanding and appreciation for their activities. The [Wajima Dozo Culture Renovation Center](#), a 2012 recipient, not only made a name for itself within its community but also won wider recognition that offered encouragement to craftsmen throughout the country who work with plaster.

The majority of the recipients commented that one of the greatest benefits of the award was the way in which it restored confidence and pride in the activities that the organizations have been pursuing. Many of the recipients noted that they felt a stronger sense of pride in their region and their local community, or observed that the local residents came to share a sense of pride in their traditional culture. For some that have been active for many years but had lacked confidence in the purpose or significance of their efforts, the Tiffany Foundation Award provided encouragement and affirmation.

Proud of their recognition, the awardees also reported feeling a renewed determination to carry on their work. Some voiced their desire to further enrich their communities by helping people take greater pride in their hometowns, working with a greater sense of self-affirmation and confidence. Others felt inspired to continue innovating while respecting tradition, and some noted that the award pushed them to expand their horizons and step out into the international arena.

Because the Tiffany Foundation Award was presented by a prestigious and world-renowned organization, receiving it was viewed as bestowing the awardees with not only domestic acknowledgment but also international recognition. Some organizations have indeed found ways to subsequently expand their horizons overseas. For example, the [Taiguruma Revival Project](#), one of two recipients in 2011, took advantage of an opportunity to send a delegation to Galveston, Texas—the American sister city of their native Niigata—to display its namesake *Taiguruma* lanterns (fish-shaped lanterns that can be pulled around on wheels). For the [Kyo-machiya Revitalization Study Group](#), a 2010 winner that restored the traditional Kyoto townhouses known as “Kyo-machiya,” the Tiffany Foundation Award led to the group’s participation in a symposium held in New York City.

The fact that the award came from a foundation established by a prestigious international luxury brand held a special significance for the winners. Especially for those working hard in remote regions, an award associated with The Tiffany & Co. Foundation appeared to have been a source of great joy and satisfaction.

As can be seen from these examples, the Tiffany Foundation Award instilled pride and confidence in the recipients, raised their profiles, and encouraged them to embark on a new phase of institutional development. In some cases, the heightened recognition encouraged the younger generations in their towns to participate more proactively in the organizations’ activities, which is pivotal in sustaining them. The award also succeeded in highlighting the high quality and rich variety of regional culture and traditions that exist throughout the country and in showcasing



how Japan's cultural legacy is a precious resource that has appeal not only within the country but for the world at large.

In 2014, the Japanese government created a new cabinet-level post, that of minister in charge of regional revitalization, to tackle the issue of dwindling populations and communities in decline. The move signaled Japan's realization that it must give serious consideration to the issue of local-level revitalization, and the organizations recognized by The Tiffany & Co. Foundation will surely serve as valuable assets in reinvigorating Japan's small towns and rural areas.

JCIE has launched a webpage to disseminate information about the "Friends of the Tiffany Foundation Award," and this profiles not only the award winners, but also many of the applicants as well. The site currently introduces the activities of 113 organizations and it should serve as a source of useful data for years to come.

We sincerely hope that this publication will encourage a deeper understanding of the important role played by traditional culture at the local level around Japan and their role in reinvigorating communities. We also hope that the organizations that have been recognized as awardees will continue to play a vital part in their communities and serve as models of success for others to follow.